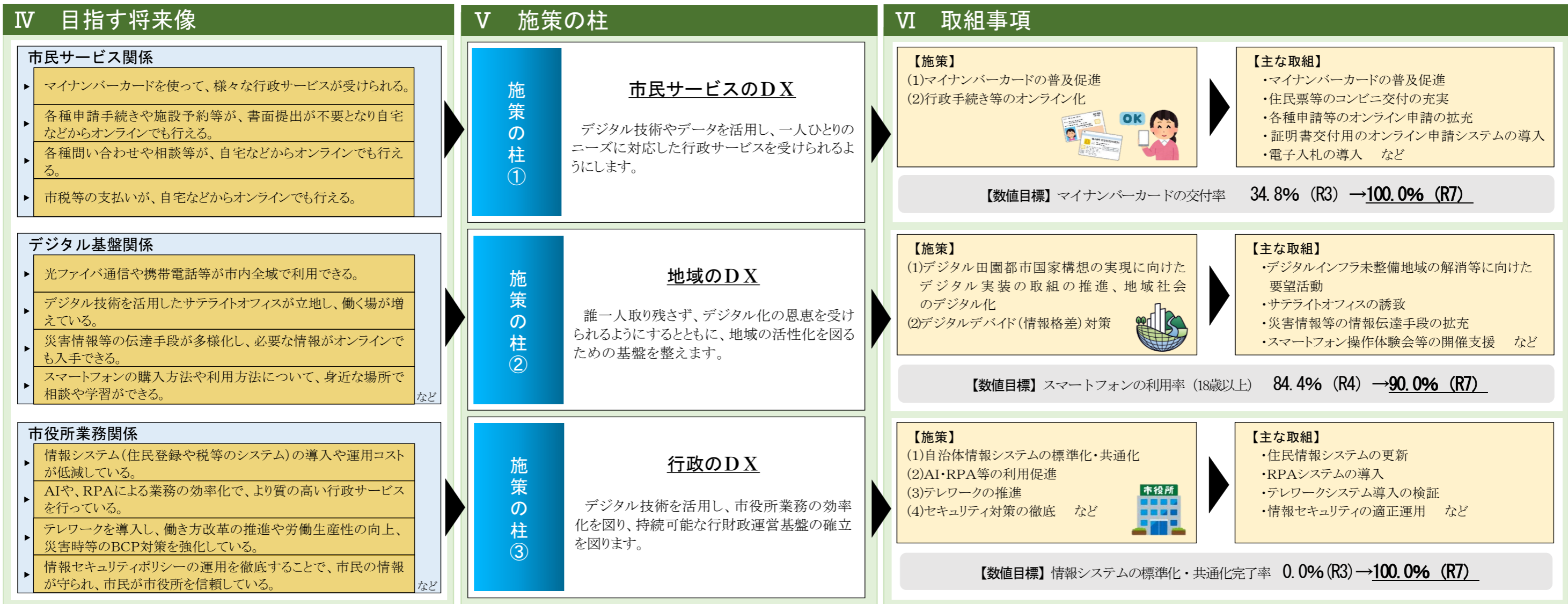


I はじめに		II 現状と課題	III 計画の理念
計画策定の背景・趣旨 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、デジタル化をめぐる様々な課題が明らかとなりました。 これらに対応するため、社会全体がデジタル化に向け、動きを加速しているほか、デジタル技術を活用し社会変革を目指す「DX」の必要性が認識され、地域の振興や課題の解決に活用しようとする気運が高まっています。 こうした中、本市の最上位計画である第2次能代市総合計画の基本目標の推進とまちづくりの基本理念である「幸福共創」を実現するため、本計画を策定します。	計画の位置付け 関連する行財政改革大綱、定員適正化計画と連携しながら、総合計画の推進を支援する計画です。 また、市町村官民データ活用推進計画を兼ねる計画とします。	人口減少と少子高齢化 本市の人口は、全国や秋田県の平均を上回って減少を続けており、高齢化も進行しています。 特に、若者の流出に歯止めがかからず、未婚率の上昇や少子化の要因にもなっていて、人口の年齢構成に不均衡が生じています。	情報通信技術が進展し、課題が多様化する中で、デジタル技術やデータを活用して、総合計画の基本目標の推進とまちづくりの基本理念である「幸福共創」を実現するため、本計画の理念を次のとおりとします。
計画期間 令和5年4月から8年3月までとします。	推進体制 能代市DX推進本部で、本計画に基づく施策を部局横断的かつ総合的に推進するほか、指標等を活用した進行管理を行います。	デジタル化の遅れ (1) デジタル基盤の整備の遅れ 本市の一部に、光ファイバ通信や携帯電話等が利用できない地域があり、そのような地域では、情報通信技術を活用した各種サービスが受けづらくなっています。 (2) 市役所業務のデジタル化の遅れ 近年の情報通信技術や、AI・RPAといった先端的な技術の進展により、市民の利便性向上と行政事務の効率化が可能となる環境が整いつつある中、それらへの対応が遅れている面もあります。	デジタル技術やデータを活用して、いつでも、どこからでも、必要な行政サービスが利用できるとともに、誰一人取り残されないデジタル社会を通じて、『豊かさを実感できるふるさと能代』を実現します。



※施策の柱ごとの取組とKPIは、今後、能代市DX推進本部で取りまとめます。また、進捗状況や効果を検証しながら随時見直します。